

令和7年12月 番組審議会議事録

株式会社び～ぶる

2025年12月1日

作成：放送部 野中佳恵

令和7年12月番組審議会 議事録

○日 時 令和7年12月1日（月）17：00～18：30

○会 場 大手口センタービル「Otte」3階 唐津市民交流プラザ 第1会議室

○出席者 委員長 栗原 宣康 （唐津市 教育委員会 教育長）
委 員 西 亘 （玄海町みんなの地域商社 代表理事）
松尾 由美 （国際ソロプロチミスト唐津 会長）
松田 毅 （佐賀新聞 唐津支社長）
森 千晶 （唐津市 政策部 広聴広報課 課長）
山口 ひろみ （唐津市子育て支援情報センターセンター長）
山下 正美 （唐津商工会議所 専務理事）
ひ～る 中村 隆 （代表取締役社長）
山下 善史郎 （取締役常務）
亀井 信一 （取締役放送部長）
野中 佳恵 （放送部 主任）
河谷 嘉宏 （放送部 副主任）

○欠 席 委 員 木村 剛（唐津青年会議所 青少年交流委員会 委員長
／(株)渚館きむら 代表取締役）

※敬称略。委員は50音順

■ 株式会社ぴ～ぶる 社長 中村 隆 挨拶

こうしなければいけないという課題があがっているが、1年間終わってみるとクリアしているところはあまりない感じはしている。新しいことには挑戦していく会社ではあるので、放送に関しても皆さんの意見をいただいて改善していきたい。1年間ありがとうございました。

■ 番組審議委員長 栗原 宣康 委員長 挨拶

審議について、それぞれの番組について、皆さんから活発なご意見・ご感想をいただければと思います、よろしくお願ひいたします。

■ 番組審議

審議主対象番組

●①『壮観劇場 玄界灘と神秘の洞窟』

【初回放送】2025年9月6日 【番組時間】約25分 【制作】田中 直也

壮観劇場は日本ケーブルテレビ連盟と全国のケーブルテレビ局が、日本各地の壮観な情景を高品質の4Kの映像美で届けるシリーズ番組の一つ。

番組では七ツ釜の景色のほか、温暖化の影響で海の異変に対峙する人たちの思い、中国大陸と日本の歴史を紐解く海中遺跡、フランスの素潜りダイバー「ジャック・マイヨール」のエピソードを紹介。ジャック・マイヨールに唐津の海を「世界一の楽園」といわしめた七ツ釜、その美しさと世界感をお届けしました。

森 委員：上空からの撮影が多くて日ごろ見慣れている景色と違って、面白く拝見した。七ツ釜を何度も訪れたことはあるが、白い観音様とか知らないことばかりだと思いながら見た。洞窟内がどうなっているか紹介もあって、細かく追ってあり、見ごたえがあった。唐津市は「もっと唐津を好きになる」をテーマにして外向けに観光PR、市民に地域資源を知ってもらい、愛着を感じてもらい唐津って良いまちだと思ってもらいたいとテーマにやっている。ぴ～ぶるで見たことがなく、もっとたくさんの人々に知ってもらいたいと思い、家族で見させていただいた。

西 委員：ぴ～ぶる以外でどこで放送されている？→（亀井部長：ケーブル連盟加盟局の中で有料で展開されていて、製作費をいただいて制作している）

海の中の映像が新鮮。今まで地上から見えている部分は見てきたが、海の中を見ることがなかったのもっと詳しく知りたいと思った。海女さんの話している部分が、しゃべっている声のボリュームやバックで流れている水流、エンジンの音

とか差がないくらいの音量で、臨場感があって現場で話されている感じがわかりやすくて良かった。海の中の変化についても、実際漁をされている方から聞いていて、課題がより伝わりやすかったのではないかと思った。

松尾委員：ずっと唐津にいるのに知らないことだらけで、びっくりして感心した。構成も素晴らしい。海中の映像は田中さん？（→部長：海中の映像はマリンスポーツセンターの方の映像がメイン。海上の映像は田中が撮っている）唐津を宣伝するうえでもこういう映像を外部に発信すると唐津の魅力が皆さんに知られていいのでは？これを何かに利用できないかと思った。

山下委員：七ツ釜を SUP 通り抜けたことがあり、興味深く見させてもらった。1つは七ツ釜が国の天然記念物に1925年に指定されて、ことし100周年。市や観光課が何か取り上げられたらよかったです。土器埼と書いて「かわらけさき」と呼ぶのを全く知らなかった。もうひとこと踏み込んだ説明があったらよかったです。

松田委員：自然や水中の様子、歴史をわかりやすくまとめられていた。一方で温暖化問題やプラごみ問題など、そのへんとの程度の割合。こんな課題を抱えて、次に残していく、伝えていくというところの番組としての役割があると思うので、割合が難しかったのでは？考えたの構成だったのでは？と思いながら見た。違和感もなく、すんなり見られたので、うまく構成ができていたと思う。小さい画面で見たので、大きい画面で見たらまた違う印象があったのではないかと思った。

山口委員：ナレーターの方がいつもと違って、ドキッとして新鮮だった。ドキュメント番組のような形で、映像とともに、ナレーターの声もすごく大事だと思った。ひき込まれていった。海中遺跡は知らなかつたので、遺跡の歴史に少し踏み込んで、もう少し話があったらもっと魅力的になるのでは？浪口さん親子で海の環境に取り組まれているので、親子のつながりでコメントをいただけたらよかったです。と思ったが、素晴らしい映像だったので子供たちに見てもらいたい。

栗原委員長：ナレーターの声の方が気になって誰か調べてみた。いつも聞いている声はホツとするところもあるが、あの映像と声でひき込まれた。七ツ釜を上からと、一つずつ手前から迫っていったドローンの映像がすごくきれいで、ほかにも鏡山や虹の松原の風景のドローン映像がきれいだった。七ツ釜の海中の様子や海上から柱状節理を見たり、空を見たり、洞窟内とか皆知らないところで、魅力を発信してもらった。知っていたつもりだったが全然知らなかつたと思った。自然と環境問題のバランスのところ、浪口さん親子が磯焼けや温暖化の話をされて、それを伝えたというところが良かった。

亀井部長：ドローン映像は別番組「ソラカラ」のストックから使って、アーカイブを活用している。

審議副対象番組 ①②

●①『からとび KARATSU' n NEWS & TOPICS』

2025年10月20日放送回 【番組時間】15分 【制作】富永・田中ほか

この日は、大山笠が復活した「相知くんち」、4年前に復活した「呼子くんち」、5年ぶりに復活した「鳥巣天衝舞浮立」の秋祭り3本をお届けしました。

10月からコーナーの編成を変更し、「ぴっぷるんの唐津再発見」「キッズビジョン」「いきいきちゃんねる」「特集」は水曜日にローテーションで放送することにしました

西 委員：YouTube配信3か月間のルールのしばりは？もっと見せてもいいのでは？もったいない気がする。

亀井：無料で見られるようにしている。利用者の方から頂いたお金を使って制作している番組のため、利用者の利益になるという前提があって、無償で見られる範囲を限定している。今後変わっていく可能性はある。限定的に利用者だったら見られるという仕組みを模索中。

山下委員：呼子くんちがとりあげてあったが、スポンサーの進藤さんと生前つきあいがあった。その息子さんが街おこしでたくさんのプロジェクトを展開されて、以前、行政にいたものとして、これだけしていただけるのはありがたい。全部行けていないので、呼子の町に良い影響を与えてはいるのか現地で見ていないのでわからないが、感動した。

西 委員：呼子のサウナやかき氷店など一通り実際に来ってきた。値段は張るので、地域の人が入るにはなかなかハードルは高いかなと思った。だが観光地にあるのはいいし、施設は良かった。

【安心カメラについて】ニュースの中で安心カメラが紹介してあったが結構普及していますか？（→亀井：まだ立ち上がり段階）

すごく良いサービスだと思った。ぴ～ぷるが持っている強み、全世帯に情報を網羅されているからこそできるサービスのひとつで、子を持つ親にとってはありがたいサービス。

中村社長：監視カメラは非常に相場が高かったが、価格をおさえている。この地域は犯罪から守られているという安心感ができる。警察と一緒にやる、警察署の名前をステッカーにつけられるのが一番犯罪の抑止力になるのでは？一般的な警備会社などあるが、もっと敏感ですよと語りかけるようなステッカーになっている。犬・猫の見守り用としても使える家の中にもつけられるカメラもある。監視カメラは走り出しなので説明ができるように社内のスタッフの家からつけていっている。

森 委員：秋祭りを1日でとりあげてあって、唐津は広いと改めて思った。山車があり、浮立があり、いろんな地域でいろんな祭りが根付いていると感じた。

【からとびの放送について】おくんち前になると 1 週間休みになっているので、放送を楽しみにしている者からしたら、しょうがないとは思いつつ残念に思う。

→中村：作りだめして出していくという方法もあるので、放送部で話をしたい。常時見ていらっしゃる方から同様の意見をいただいている。

松尾委員：お祭りで子どもの表情がよく撮れている。特に鳥巣、おじいちゃんが太鼓を教えているつながり、子どもも自分の役割を果たしているという姿や表情がよく撮れていた。映像を撮られた方が素晴らしいと感じた。

松田委員：鳥巣浮立て天突きをつけない理由はなんだったのか？代わりに鉢巻をつけてと、さらっとしかなく、そこの説明がもう少し欲しかった。

中村社長：人口・世帯減になって、継承者や伝承者が減っていく。唐津くんち以外は縮小か合併か、外部を入れてやっていくことになっていく。祭りがなくなっていく方向は間違いない。こういう祭りがあったという歴史を残さないといけないし、祭りが復活する際には、すぐに伝承できるよう映像は大切に残していくかなければならないと思っている。

亀井部長：以前実際にそういう事例があった。

森 委員：ニュースで久敬社の CM をよく目にすると、子供もいるので関心をもって見て いる。

（昔はガラガラだったが、今なかなか寮に入れなくなってきた）

中村社長：きれいになっただけじゃなく、女性も入れるようになり、OB の熱量も強かった。 実際の寮生活の姿を発信するということが一番効いているのではないか？

山口委員：ぴっぷるんの唐津再発見では、富永さんのナレーションにほっこりします。

●副対象②玄海町行政放送 『唐津青翔高校 OPEN SCHOOL 2025』

【初回放送】2025 年 9 月 24 日 【番組時間】19 分

【制作】中西・吉原彩花

唐津青翔高校で 7/25 (金) に行われた「OPEN SCHOOL 2025」の模様を紹介。来年度から新しく新設される「e スポーツ学科」の紹介のほか、どんな授業があるのかなど、唐津青翔高校の魅力を町民の方々に発信する構成にしました。

西 委員：リポーターが出られて、体験されて、紹介されて、新しくできる学科や環境学習 という県内唯一のものという紹介が主要だろうと思いつつも、実際の在校生の声 がもっとたくさんあれば、もっと効果的な番組になったのではと思った。 もともと地域未来留学といって青翔高校は全国から生徒を募集していて、この e スポーツ学科を新設された。現時点で一人来ている。（言っていいがわからない

が) 来年は 7 名きている。

e スポーツ学科で何をするのかわかりづらい。先生たちも頭を悩ませているところだと思う。オープンスクールやいろんな媒体をうまく使って発信していければ違うのかなと思った。

栗原委員長：画面を見て楽しそうだとは見えたが、それからこの先、どういう進路につながるのかがわかれれば良かった。将来的なものとか具体的な中身がもう少し欲しかった。

山口委員：番組は町内放送のみ？高校の HP や YouTube でも発信されている？

→**亀井部**：高校はわからないが、玄海町が YouTube チャンネルを持たれているので、行政放送で流した番組を少しアレンジしてアップされている。

山口委員：もし全国向ければ、学校の雰囲気はわかったが、保護者であれば住環境も心配になるので、それがわかるような作りだったら良かったと思う。

松田委員：高校の普通科の改革、無償化もあり、高校の競争みたいになっている中でどうやって独自性を出していくか。移住問題、住環境について、十数分では足りないくらいのテーマがある。

■ その他主な特別番組・主なレギュラー番組紹介

■ トピックについて

亀井部長：「おまつりニッポン」シリーズのひとつ、弊社制作の「唐津くんち」を JAL の国際線・国内線で放送中。

【河川カメラ】 スタッフの安全面・勤怠問題などから災害時の取材が難しく、自動化できないかというのが一つ、唐津は災害が比較的少ないとはいえ、浜玉や七山で災害が起きたこともあり何かできないかと、河川カメラを現在は武雄河川事務所からの映像を 5 か所放送している。通常は時間を決めて 1 日数回放送しているが、大雨の時はこちらに切り替えようと考えている。今後は自社カメラを増やしていく、今メルキュールホテルの屋上についていて、それも含めもう 2~3 台増やしたい。あわせて現在、データ放送を災害に特化した形でリニューアル中、年度内には形にしたいと思っている。

栗原委員長：おまつりニッポンの件、もっとたくさんの人に知ってもらって、ぜひたくさんの人を見てもらいたい。

中村社長：JAL の担当役員と接触して、アクセス数を教えていただくよう役員会にあげてもらうようになっている。

■ 次回番組審議会について

亀井部長：次回は4月。また日程調整後連絡します

■. 閉会